

世界の情勢(ヨーロッパ) I

科目ナンバリング ARS-103

【IV】 選択 2単位

森崎 美穂子

1. 授業の概要(ねらい)

現在、様々な分野でグローバル化が進んでいる。こうした状況において諸外国の政治・経済の知識、文化への理解は、今後の日本の国際社会での役割を考えるうえで重要な要素となる。この授業では、欧州(特に西ヨーロッパ)を取り上げ、地理的特徴や歴史、文化、そして、最近の経済情勢や産業について学ぶ。講義を通じて、欧州に関するニュースの背景を分析し、考察できるようになることを目指す。

2. 授業の到達目標

- ① 欧州各国の地理的特徴と歴史を把握する。
- ② 欧州各国の文化・社会・経済に対する基本的な知識を得る。
- ③ 欧州各国のニュースに関心を持ち、その事象の原因・背景を分析し、考察する力を養う。

3. 成績評価の方法および基準

- ・授業ごとのリアクションペーパーもしくは小テスト65%、期末レポート35%
- ・期末レポートの課題は、14回目の講義で提示する。
- ・出席率3分の2以上(公欠を除く)と期末レポートの提出が単位の取得に必須となる。

4. 教科書・参考文献

教科書

適宜資料を配布する。

参考文献

ペーター・ガイス 監修

ギヨーム・ル・カントレック 監修

福井憲彦 監訳

近藤孝弘 監訳ほか 『ドイツ・フランス共通歴史教科書【現代史】』 明石書店

ペーター・ガイス 監修

ギヨーム・ル・カントレック 監修

福井憲彦 監訳

近藤孝弘 監訳ほか 『ドイツ・フランス共通歴史教科書【近現代史】』 明石書店

明石和康 『ヨーロッパがわかる一起源から統合への道のり』 岩波書店

編集部 『地図でスツと頭に入るヨーロッパ47カ国』 昭文社

5. 準備学修の内容

- ・欧州の政治経済に関するニュースを読み、主要な人物やキーワードを覚えておく。
- ・参考文献で紹介した本などを読んで欧州の地理、歴史のポイントを押さえておく。

6. その他履修上の注意事項

- ・欧州情勢によって適宜授業の順番・内容を調整する。
- ・「世界の情勢(ヨーロッパ) I」の後に「世界の情勢(ヨーロッパ) II」を履修することが望ましい。

7. 授業内容

- | | |
|--------|--|
| 【第1回】 | ガイダンス
授業の内容と進め方、評価方法などの説明 |
| 【第2回】 | 欧州の地理的特徴 |
| 【第3回】 | 欧州の歴史(授業内容に関連する出来事を中心に) |
| 【第4回】 | EUの成立と現在の加盟国の状況 |
| 【第5回】 | EUの経済政策 |
| 【第6回】 | EUの農業政策 |
| 【第7回】 | EUの農村政策 |
| 【第8回】 | EUの観光産業 |
| 【第9回】 | EUの地理的表示産品 |
| 【第10回】 | EUの農産物の貿易の状況
ウルグアイラウンド交渉、日・EU経済連携協定(EPA)等 |
| 【第11回】 | 欧州のユネスコ無形文化遺産:フランス人の美食的料理 |
| 【第12回】 | 欧州のユネスコ無形文化遺産:地中海料理 |
| 【第13回】 | 欧州のユネスコ無形文化遺産:移牧 |
| 【第14回】 | 復習 |
| 【第15回】 | 期末レポートの書き方、評価のポイントの説明 オンライン |